

わたしたちの鹿児島、
わたしたちで守ろう。

Let's protect Kagoshima's native species by ourselves.

» 外来種から鹿児島県の生物多様性を守るために

鹿児島県は南北 600km にも及ぶ県土や 3 つの気候帯を有しています。また、渡瀬線を挟んだ 2 つの生物地理区に属しており、鹿児島県の多くの島々には、固有種、希少種が生息・生育し、独特な生態系が存在します。このため、動植物が持ち込まれることで、生態系に影響を及ぼす侵略的外来種となる場合があります。

世界自然遺産に登録された奄美大島や徳之島のある奄美群島でも、外来種が野生化し定着することで、生態系への被害やそのおそれが生じています。

これらのことと十分に理解し、安易に県内へ動植物を持ち込むことのないようにしましょう。

外来種被害予防 3 原則



» 外来種は悪者なの？

外来種は、意図的又は非意図的に自然分布域外に持ち込まれた生物です。被害を受ける在来種同様、生態系や人の生活環境への被害を防止するために防除される侵略的外来種もまた「被害者」です。そのことを理解し、自らが新たな外来種問題の原因者とならないよう十分に気をつけましょう。



本県の外来種の詳しい情報については！ [鹿児島県 外来種](#) [Q 検索](#)

鹿児島県の外来種の詳しい情報については、鹿児島県のホームページをご覧ください。

URL <http://www.pref.kagoshima.jp/kurashi-kankyo/kankyo/yasei/gairai/index.html>



外来種を見つけたら速やかに対処しよう！



撮影／入野祐史

鹿児島県にお住まいの方向け

ツヤオオズアリ 防除マニュアル

→ ツヤオオズアリは、「指定外来動植物による鹿児島の生態系に係る被害の防止に関する条例」で指定外来動植物に指定されています。



ツヤオオズアリってこんな生き物

ツヤオオズアリ

学名: *Pheidole megacephala*

▶ アフリカ原産
アリ科
世界の侵略的外来種ワースト100



分布



県本土では指宿市周辺のみで確認されており、緑化樹等の移動により侵入したと考えられています。

形態



兵アリの体長は3.5mm、働きアリの体長は2mmです。頭部と腹部は暗褐色、他は褐色をしています。兵アリの頭部は大きく、つやつやと黒光りをしています。働きアリの頭部は兵アリほど大きくありません。

生態



裸地や畠、海岸付近等の乾燥した環境に生息します。巣は土中、石下、倒木下などで見られます。仲間の死骸を巣の外に山状に積み上げる行動が知られます。

繁殖



多女王性で、巨大なコロニーを形成し、分巣で増殖します。一つの巣に数百匹～数万匹の個体と、多数の繁殖個体が生息しています。



兵アリ

引用:日本産アリ類画像データベース2008

ツヤオオズアリによる影響

競争力が強く、在来アリ等を駆逐し、生息数を減少させる可能性があります。



撮影／入野祐史

ツヤオオズアリの防除方法

ここを
チェック!

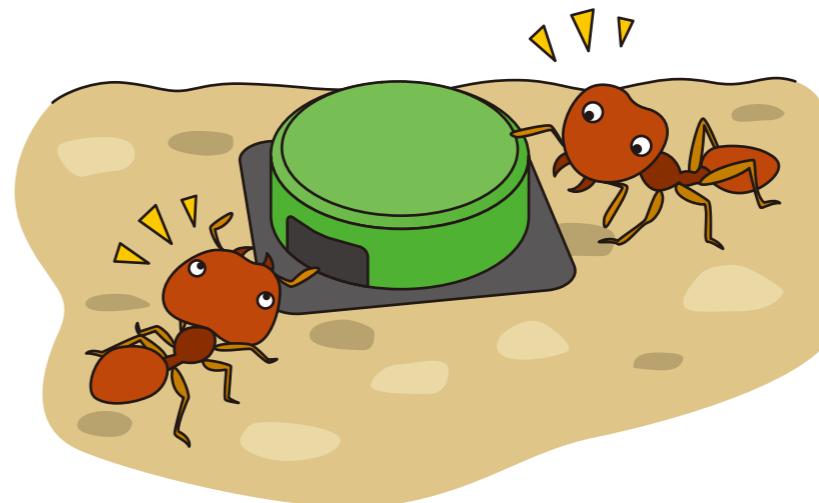
主な生息地 公園、海岸、裸地や畠等

薬剤による防除

時期 ● 春～秋

除去方法

家庭用に市販されているアリ駆除剤(有効成分: フィプロニル)を巣の近くに設置して防除しましょう。また、設置した駆除剤を回収したら、厚手のビニール袋に入れて処分してください。



薬剤設置の様子



液剤散布の様子

根絶までの流れ

駆除剤を設置した場所やその周辺を確認し、巣が見つかった場合は、再度防除を行いましょう。確認されなかった場合でも、定期的に確認を行いましょう。